

ディープに歌舞伎入門⑨ 言葉編

～歌舞伎・文楽の解像度が上がる “ことばの世界”～



歌舞伎や淨瑠璃は、ことばの芸術でもあります。本講座では、七五調、掛け言葉、縁語、枕詞、道行文、引用など、歌舞伎の台詞や淨瑠璃の文章などに頻出する文章表現、レトリックを取り上げて、その効果を深掘りしていきます。ことばを味わい尽くす講座です。

令和5年 12月 24日 (日)
13:30 ~ 16:30 (受付は13時開始)
可児市文化創造センター ala 映像シアター

【チケット】

令和5年11月18日(土) 9:00 発売

★電話予約は翌19日(日) 9:00 から

全席指定 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala・インフォメーション
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
(9時から19時まで / 火曜休)

- ◆ 電話予約・・・0574-60-3050
- ◆ インターネット予約 <https://www.e-get.jp/kpac/pt/>

※チケット販売システムGettiiのページです。
※アーラフレンドシップへの登録(無料)が必要となります。



文化庁
KANI PUBLIC ARTS CENTER ala
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



講師：木ノ下裕一（きのした・ゆういち）

1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談一通し上演』『義経千本桜—渡海屋・大物浦—』『糸井版 摂州合邦辻』など。2016年に上演した『勧進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。

渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』(2018)の補綴や神田伯山の講談の台本執筆を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

NHKラジオ第2『おしゃべりな古典教室』にレギュラー出演中。現在まつもと市民芸術館の参与、令和6年には芸術監督団長に就任する予定。

【お問合せ】 可児市文化創造センター

Tel.0574-60-3311 (9:00~22:30)

火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み